

「川崎市民安全安心債」購入者アンケート結果

市債の個人消化・公募化を通じた資金調達手段の多様化、市民の市政への参画意識の高揚を目的として安全安心のまちづくり推進事業などを対象にした住民参加型市場公募地方債（ミニ公募債）「川崎市民安全安心債」（20 億円）を平成 19 年 11 月 26 日から 12 月 12 日にかけて川崎市内在住または在勤の個人に対して募集し、12 月 20 日に発行したところですが、その購入者アンケート結果がまとまりました。

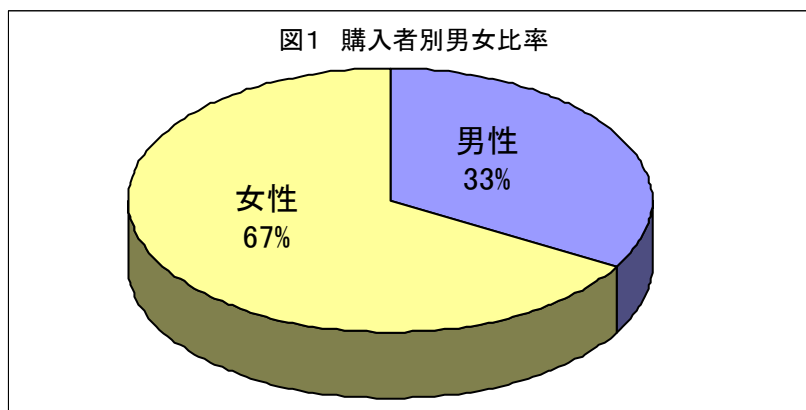
※複数回答及び無回答があるため、各質問の回答数の合計はアンケート回答者数と一致しません。

■アンケート回収状況

販売件数	回答数	回収率
862	310	36.0%

1. 男女別では女性の割合が7割弱と高くなっています。

購入者アンケート回答者総数 308 人の男女割合は、女性が 205 人（67%）、男性が 103 人（33%）となっており、女性購入者の割合が高くなっています。

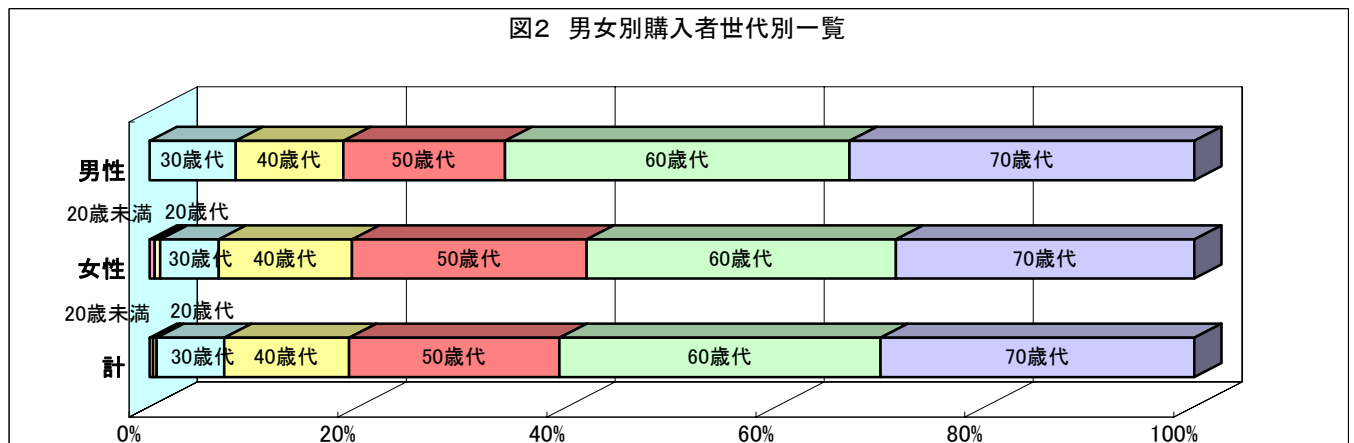


2. 世代別では60歳代から70歳代の割合が約6割と高くなっています。

世代別に見ますと、回答者総数 308 人のうち、60 歳代が 90 人（29%）で最も多く、次いで 70 歳代が 88 人（29%）、50 歳代が 59 人（19%）となっています。

■男女別・世代別構成

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
男性	0	0	8	10	15	32	32	6	103
女性	1	1	11	25	44	58	56	9	205
計	1	1	19	35	59	90	88	15	308



3. 居住地域別では市の南部地域の方が多い傾向にあります。

居住地別に見ますと、回答者総数 305 人のうち、川崎区が 65 人 (21%)、幸区と中原区が 48 人 (16%)、多摩区が 42 人 (14%)、麻生区が 37 人 (12%) の順で多くなっています。人口割合では南部地域の比率が若干高い傾向にあります。

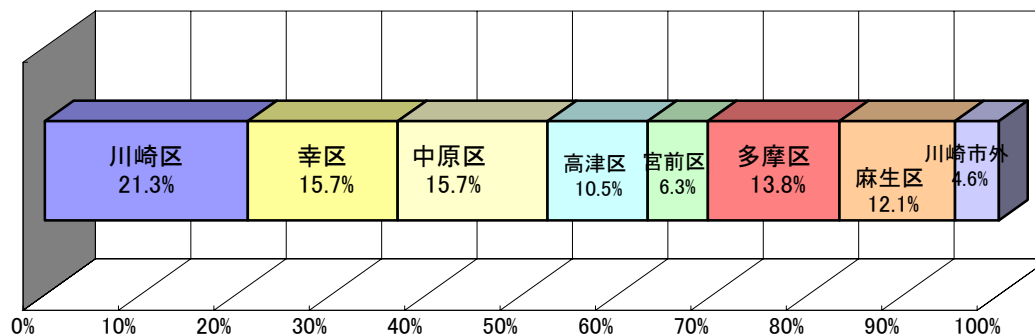
■ 居住地別構成

(件)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	川崎市外	計
購入件数	65	48	48	32	19	42	37	14	305
構成比	21.3%	15.7%	15.7%	10.5%	6.3%	13.8%	12.1%	4.6%	100%
人口(万人)	21	15	22	21	21	21	16	－	137
区民に占める割合(%)	0.03%	0.03%	0.02%	0.02%	0.01%	0.02%	0.02%	－	0.02%

※人口はH20年1月1日現在

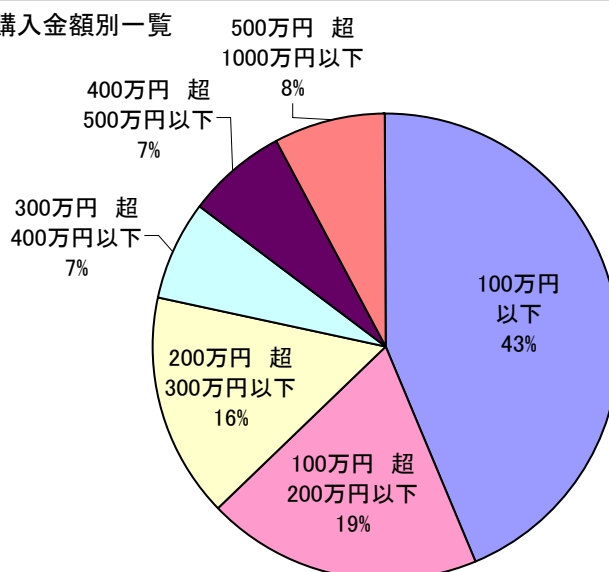
図3 居住地別購入者状況



4. 購入金額別では 100 万円以下の購入者の割合が 50%弱と高くなっています。

購入金額別に見ますと、回答者総数 308 人のうち、100 万円以下が 134 人 (43%) で最も多く、100 万円超 200 万円以下の人が 59 人 (19%) で次に多くなっています。また、300 万円以下の購入者の割合は全体の 8 割近くを占めています。これは、市債を預貯金代わりに手軽に購入していただいた結果であり、「個人の金融資産の運用方法が多様化してきている中で、このミニ公募債に投資していただく形で、新しい資金の運用先を市民の皆さんに提供する」という発行意義に沿う結果になったと考えています。

図4 購入金額別一覧



5. 一人当たりの平均購入額は205万円で、50歳以上の購入金額が多くなっています。

世代別に一人当たりの平均購入額を見ますと、80歳以上が最も多く、次いで60歳代となっています。

■購入金額別構成

(件) (万円)

	100万円 以下	100万円 超 200万円以下	200万円 超 300万円以下	300万円 超 400万円以下	400万円 超 500万円以下	500万円 超 1000万円以下	計	平均購入額
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	1	1	0	0	0	0	2	130
30歳代	14	2	1	0	2	0	19	130
40歳代	17	7	5	3	2	1	35	166
50歳代	26	10	8	5	5	5	59	236
60歳代	35	19	15	9	3	9	90	251
70歳代	34	18	18	4	8	6	88	236
80歳以上	7	2	1	1	1	3	15	288
計	134	59	48	22	21	24	308	205

図5 購入金額別構成

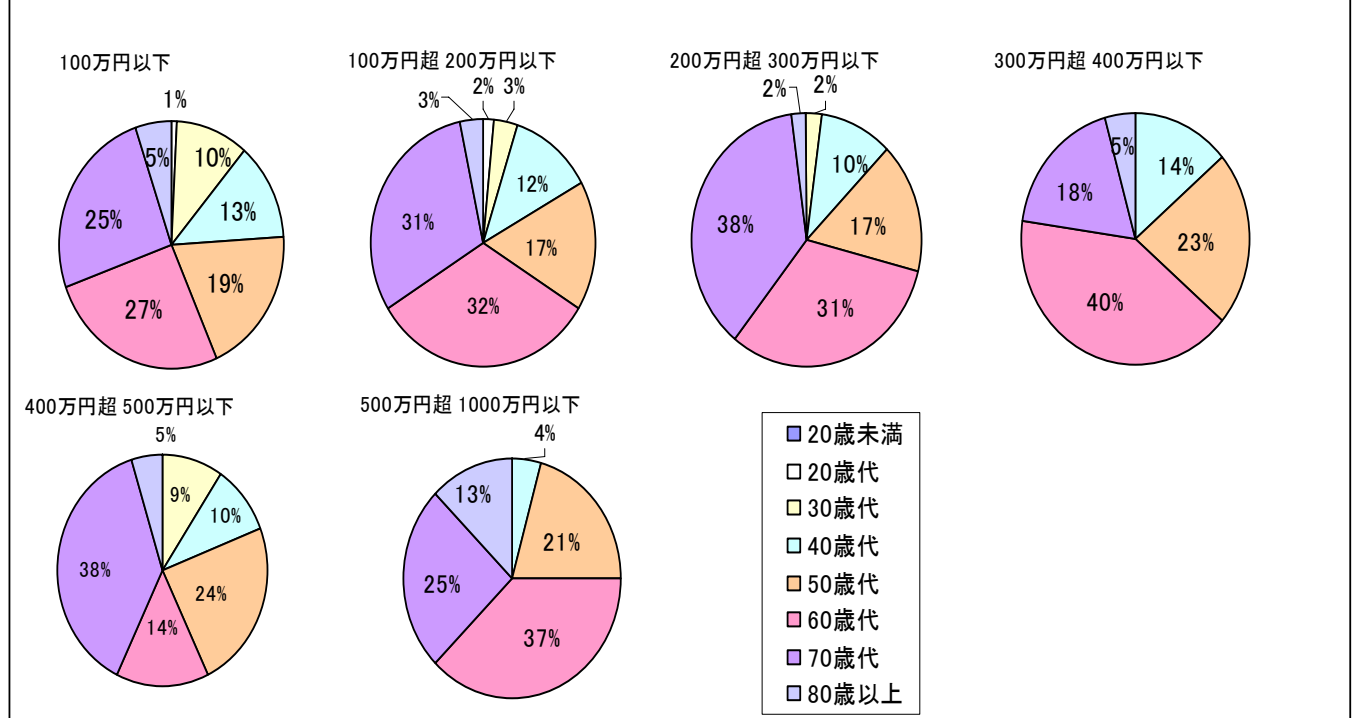
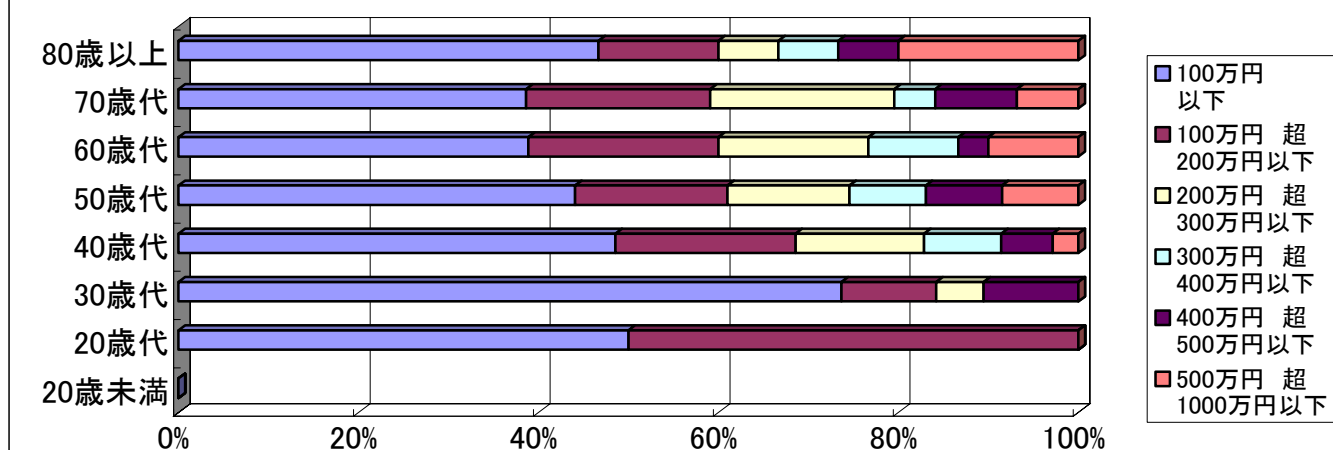


図6 年代別購入金額構成



6. 購入者のうち7割強の方が、市政だよりと金融機関からの情報で購入を決定しています。

「川崎市民安全安心債」の募集販売を何で知ったかという質問に対しては、回答総数 327 件のうち、金融機関からの勧誘が全体の 50%と最も高く、次いで「市政だより」が 26%となっています。またタウンニュースを活用した広告も高い効果が得られました。

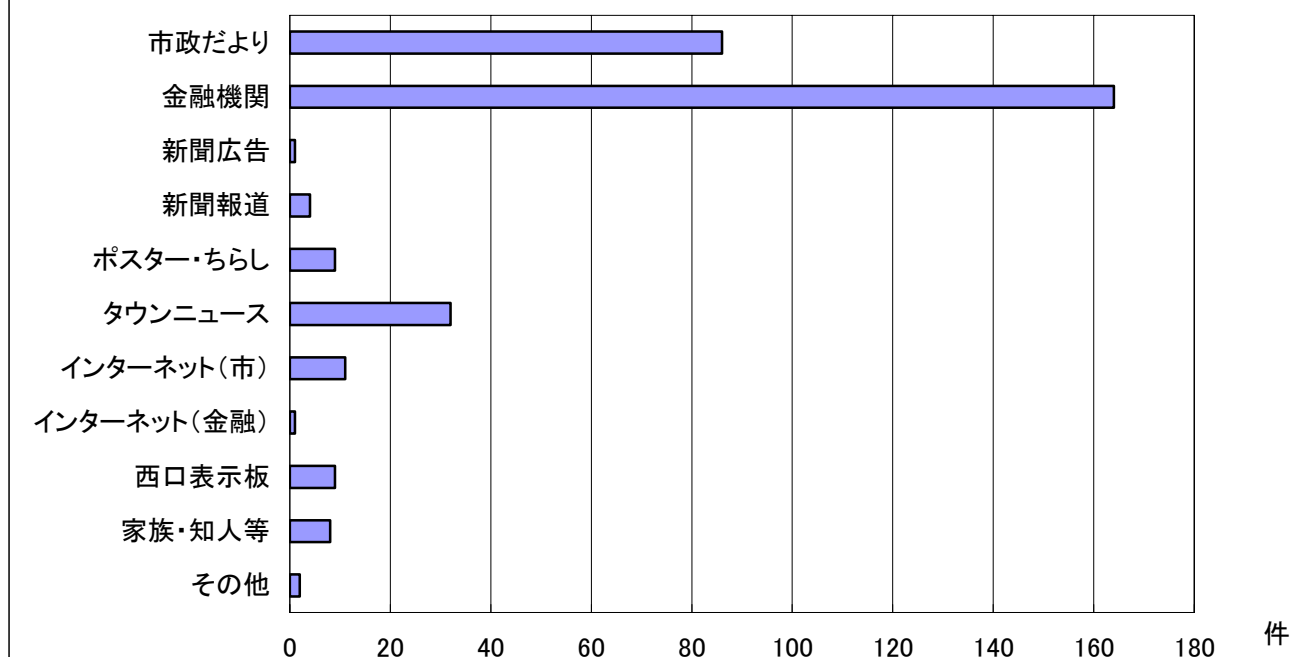
問. この市債の募集販売を何でお知りになりましたか

(件)

市政だより	金融機関	新聞広告	新聞報道	ポスター・ちらし	タウンニュース	インターネット(市)	インターネット(金融)	西口表示板
86	164	1	4	9	32	11	1	9

家族・知人等	その他	計
8	2	327

図7 市債を知るきっかけとなった理由



7. 購入者は主に市が発行するという安心感があること及び利率が有利であることから購入しています。

回答者総数 310 人のうち、139 人(45%)の方が、市が発行するという安心感から購入しています。また、「川崎市民だから」購入した方が 126 人(41%)、「防災施設整備事業等へ自分のお金を役立てたい」から購入した方も 50 人(16%)となっています。

一方、利率が他の預貯金と比べると有利であることを購入動機にした方は 139 人(45%)おり、「市民が市債の購入を通じて資金の供給者となることにより対象事業への関心を高めてもらうとともに、市民との協働と協調による『誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき』をめざす本市の基本理念に対する理解と市政参画意識の高揚を図るというミニ公募債の発行意義に沿う結果となりました。

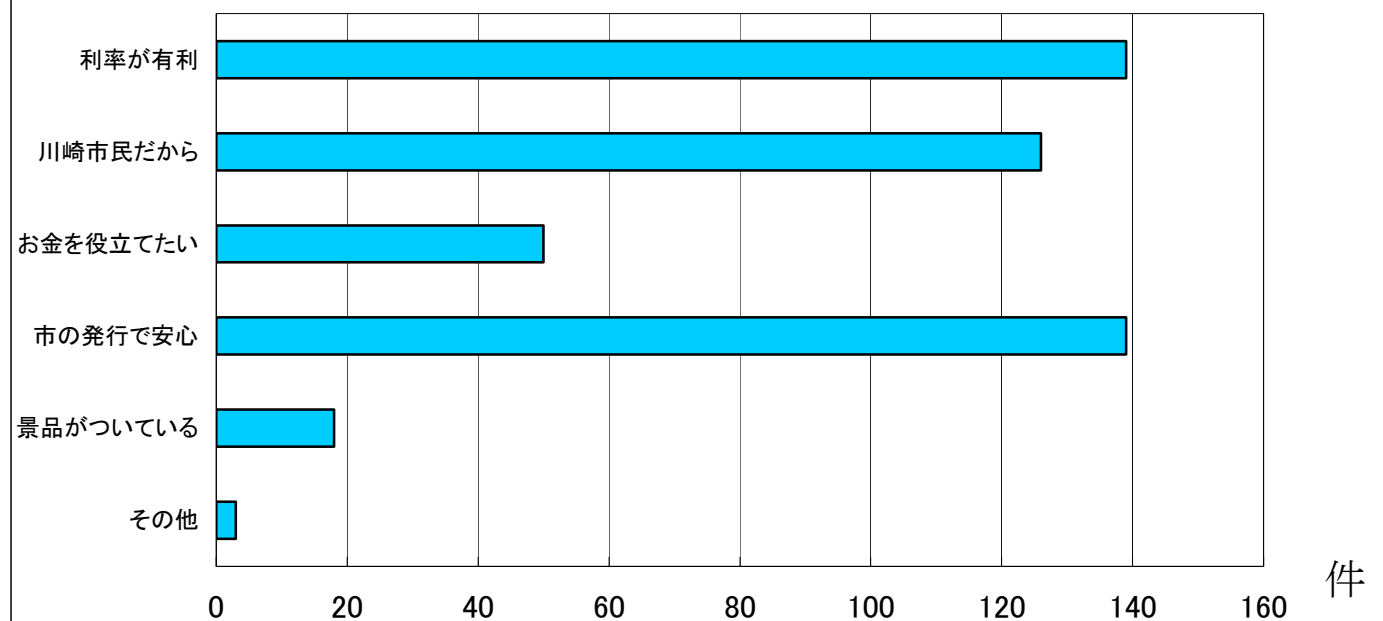
問. 特に、川崎市民安全安心債を選択した理由は何ですか

・利率が他の金融商品に比べ有利だと思ったから	139件
・川崎市民なので	126件
・資金の使途が防災施設整備事業等への活用ということで、自分のお金を役立てたかったから	50件
・市が発行する債券で安心だから	139件
・景品[招待券(抽選)]がついているから	18件
・その他	3件

[年齢別] (件)

	利率が有利	市民だから	役立てたい	安心	景品	その他	計
20歳未満	1	0	0	0	0	0	1
20歳代	0	0	0	1	0	0	1
30歳代	8	10	3	8	0	0	29
40歳代	16	14	6	11	5	0	52
50歳代	26	20	12	32	7	0	97
60歳代	46	34	18	44	4	0	146
70歳代	36	39	9	38	1	2	125
80歳以上	6	9	2	5	1	1	24
計	139	126	50	139	18	3	475

図8 川崎市民安全安心債を選択した理由は何ですか



8. 金利選好で購入する方が最も多くなっています。

利率についての質問では、回答者総数 295 人のうち、「5 年もの地方債程度」が 201 人(68%)で最も多くなっています。購入者の方は住民参加型市場公募地方債であっても、金融商品として金利選好で購入することを望まれていることがわかります。

その一方で、「資金使途が明確であれば利率にこだわらない」が 21 人(7%)、「5 年もの定期預金程度」が 12 人(4%)となっており、市債を金融商品として金利選好で購入するのではなく、市政参画の意味から購入する方もいらっしゃるということがわかります。

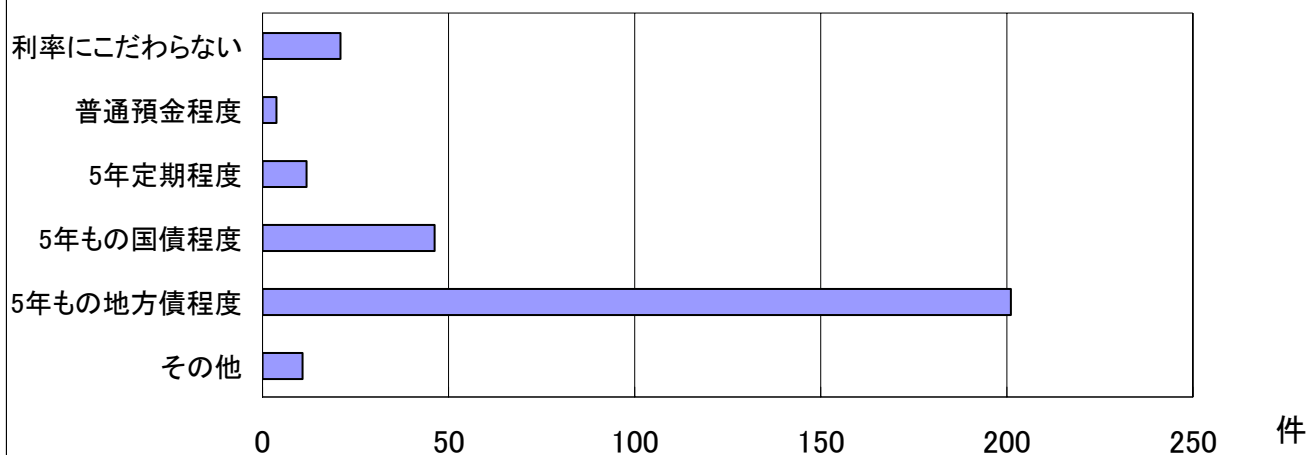
問. 次回は、利率がどの程度なら購入しようと思いますか

・資金使途が明確であれば利率にはこだわらない	21件
・普通預金の利率程度	4件
・5年もの定期預金の利率程度	12件
・5年もの国債の利率程度	46件
・5年もの地方債の利率程度	201件
・その他	11件

(件)

	その他	5年地方債	5年国債	5年定期	普通預金	こだわらない	計
20歳未満	0	1	0	0	0	0	1
20歳代	0	0	0	0	1	0	1
30歳代	1	7	5	3	1	1	18
40歳代	2	24	2	2	1	3	34
50歳代	1	38	14	1	0	4	58
60歳代	3	59	20	2	0	3	87
70歳代	3	64	4	2	1	9	83
80歳以上	1	8	1	2	0	1	13
計	11	201	46	12	4	21	295

図9 次回は利率がどの程度なら購入しようと思いますか



9. 高額の購入限度額設定を希望される方も多くなっています。

購入限度額についての質問では、回答者総数 297 人のうち、「100 万円まで」が 77 人(26%)と最も多くなっていますが、「1000 万円まで」が 66 人 (22%)、「限度なし」が 42 人(14%)と高額需要もかなりあることがわかります。

問. 購入限度額はどの程度が適当だと思われますか

(件)

	100万円	200万円	300万円	500万円	1000万円	限度なし	計
20歳未満	1	0	0	0	0	0	1
20歳代	0	0	1	0	0	0	1
30歳代	5	1	0	1	7	4	18
40歳代	6	2	5	3	14	3	33
50歳代	13	4	5	15	12	10	59
60歳代	28	14	6	13	17	9	87
70歳代	18	9	15	14	14	15	85
80歳以上	6	0	1	3	2	1	13
計	77	30	33	49	66	42	297

図10 購入限度額はどの程度が適当だと思われますか

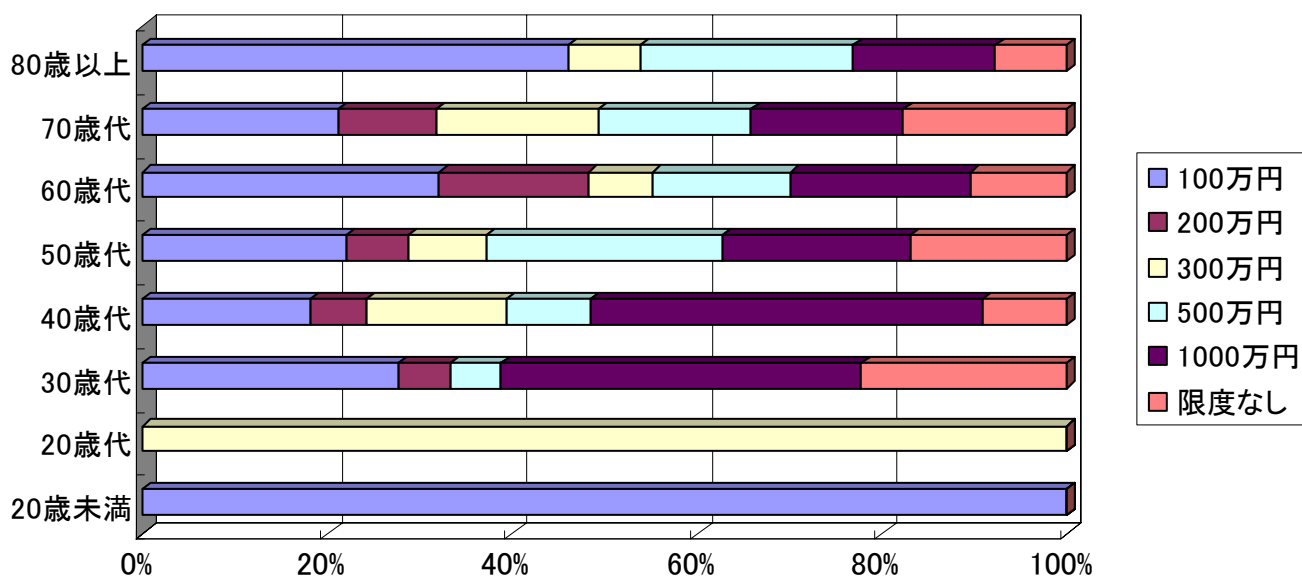
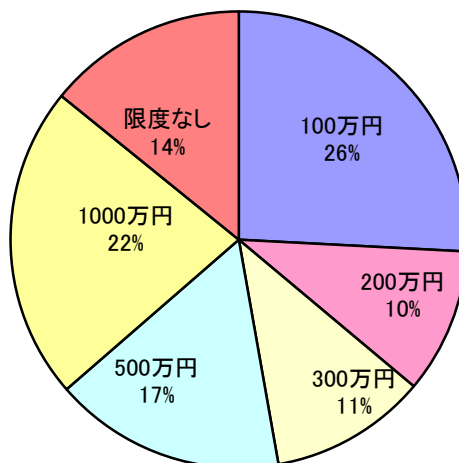


図11 希望する購入限度額一覧



10. 満期年限では「5年」を希望する購入者が約6割を占めています。

満期の年限についての質問では、回答者総数 291 人のうち、「5年」が 171 人(59%)で最も多くなっていますが、「3年」が 87 人(30%)と次いで多く、5年以下では 98%とアンケート回答者のほとんどとなっており、短期年限に対する希望が多くなっています。

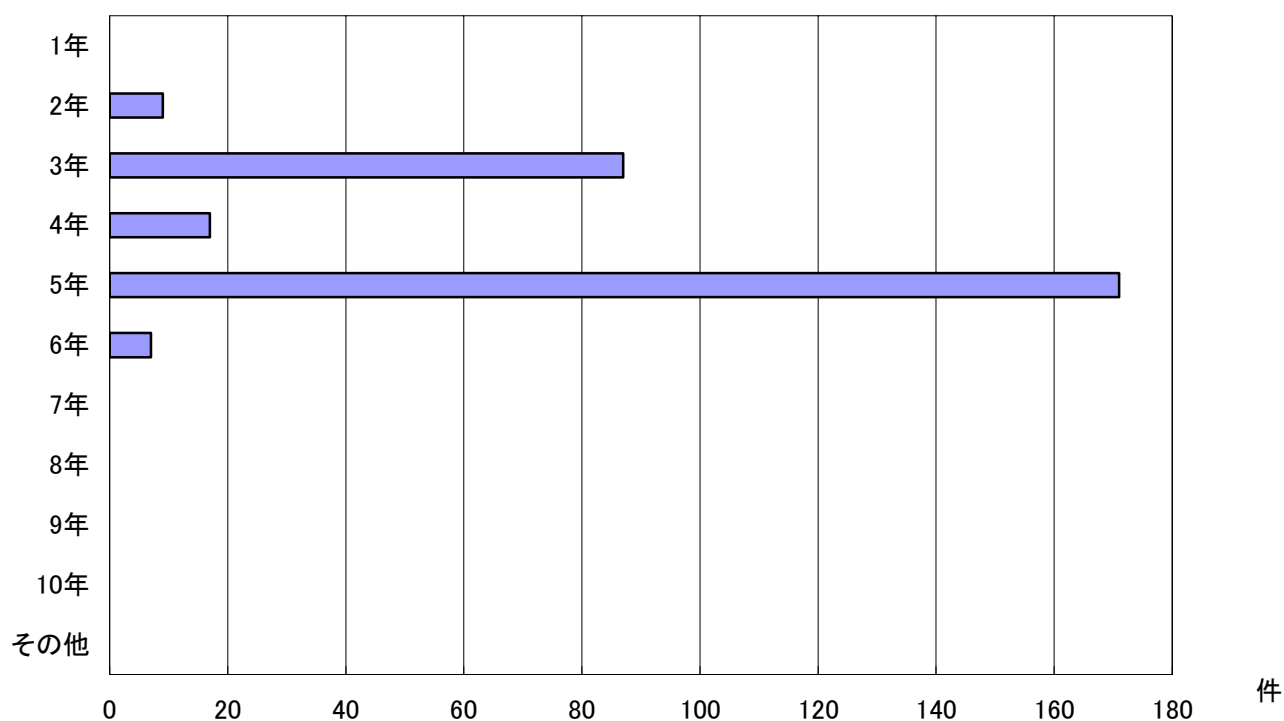
問. 満期の年限はどのくらいが望ましいですか

(件)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
0	9	87	17	171	7	0	0

9年	10年	その他	計
0	0	0	291

図12 満期の年限はどのくらいが望ましいですか



1 1. 対象事業としては「福祉、保健、医療等」を希望する購入者が最も多くなっています。

対象事業についての質問では、回答者総数 310 人のうち、「福祉、保健、医療等」が 204 人(66%)で最も多く、次いで「教育、保育施設等の整備」50 人(16%)、「公園、緑地保全、生活環境等の整備」46 人(15%)となっており、福祉、保健、医療等の整備などに対する市民の関心の高さがうかがえます。

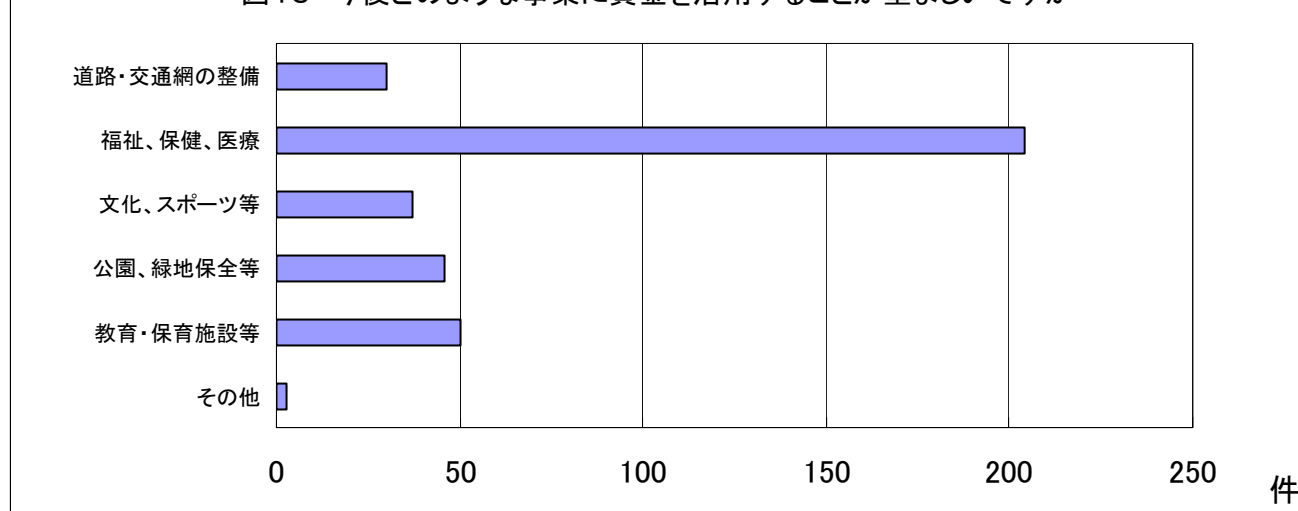
問. 今後どのような事業に資金を活用するのが望ましいですか

・道路、公共交通網等の整備	30件
・福祉、保健、医療等の整備	204件
・文化、スポーツ、地域活動施設等の整備	37件
・公園、緑地保全、生活環境等の整備	46件
・教育、保育施設等の整備	50件
・その他	3件

(件)

	道路・交通	福祉・医療	文化・スポーツ	公園、緑地	教育・保育	その他	計
20歳未満	0	0	0	1	0	0	1
20歳代	0	0	0	0	0	0	0
30歳代	0	9	1	3	11	0	24
40歳代	1	22	9	5	6	1	44
50歳代	8	37	7	11	7	1	71
60歳代	6	60	12	13	14	1	106
70歳代	14	64	7	11	10	0	106
80歳以上	1	12	1	2	2	0	18
計	30	204	37	46	50	3	370

図13 今後どのような事業に資金を活用することが望ましいですか



1 2. 購入者のうち半数以上の方がこれまで市債購入の経験がない方でした。

川崎市債の購入経験についての質問では、回答者総数 296 人のうち、「ない」が 161 人(54%)となっており、そのうち 99 人が「発行されていることを知らなかった」と回答しています。個人販売促進のためのさらなる広報活動の充実が必要であると考えられます。

問. 以前に、川崎市債を購入されたことはありますか。ない場合、その理由は何ですか。(件)

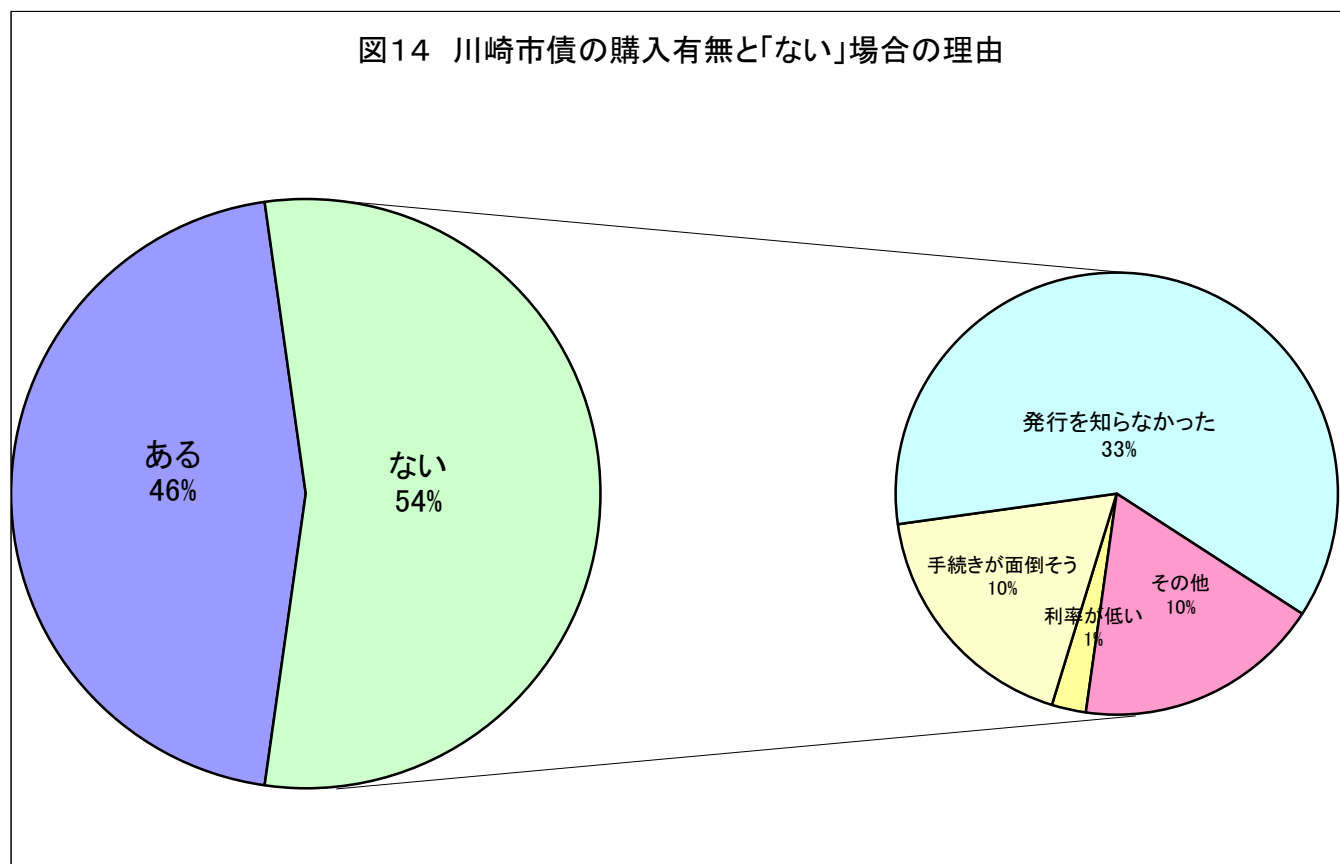
	ある	ない	利率が低い	手続きが面倒そう	発行を知らなかった	その他	計
20歳未満	0	1	0	1	0	0	1
20歳代	0	1	0	0	1	0	1
30歳代	2	15	0	0	15	0	17
40歳代	9	25	0	3	15	7	34
50歳代	26	31	2	9	17	3	57
60歳代	35	51	1	11	30	9	86
70歳代	54	31	1	5	18	7	85
80歳以上	9	6	0	0	3	3	15
計	135	161	4	29	99	29	296

問. 前の質問で、「ない」とお答えの方に伺いますが、その理由は何ですか

- ・利率が低い
- ・手続きが面倒そう
- ・発行されていることを知らなかった
- ・その他

4件
29件
99件
29件

図14 川崎市債の購入有無と「ない」場合の理由



1 3. 約 8 割の購入者が今回の市債募集を通じて「防災施設整備事業等」を知りました。

対象事業を知っていたかという質問では、回答者総数 252 人のうち、「以前から知っていた」が 58 人 (23%)、「市債の募集で初めて知った」が 194 人 (77%) という割合でした。市債の募集を通じて「シティセールスや対象事業の PR を行う」ということには効果が認められます。

問. 本市の防災施設整備事業のことをご存知でしたか

(件)

	知っていた	初めて知った	計
20歳未満	0	0	0
20歳代	0	1	1
30歳代	2	15	17
40歳代	3	28	31
50歳代	10	38	48
60歳代	23	56	79
70歳代	15	49	64
80歳以上	5	7	12
計	58	194	252